

生活基盤施設耐震化等交付金チェックシート

都道府県：島根県

計画の名称	島根県出雲市における簡易水道の水道事業基盤の強化推進及び水道施設の強靱化推進	交付事業区分	水道施設耐震化事業 簡易水道再編推進事業 統合簡易水道 水道施設耐震化事業 簡易水道再編推進事業 簡易水道統合整備事業 水道施設耐震化事業 生活基盤近代化事業 基幹改良
事業主体	出雲市	事業箇所	出雲市 美保町・塩津町地内(美保塩津) 出雲市 河下町地内外(河下広域)、大社町鷺浦地内外(鷺浦猪目)、 出雲市 三津町地内(東部統合)
	項目	チェック欄	考察欄
I 目標の妥当性			
①上位計画等との整合性		○	出雲市総合振興計画において主要事業に位置づけられている。
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合)		○	水質悪化・取水量不足の水源をもつ簡易水道を隣接する簡易水道と統合する。統合先の簡易水道の水源もクリプトスポリジウム対策が必要なことから浄水場を改良する(統合簡易水道)。水量不足やクリプトスポリジウム対策が必要な老朽化している水源を廃止し、県用水供給事業、上水道事業からの受水を行う(統合整備)。安全・安定した水の供給のため、老朽化した配水池・ポンプ場の改良を行う(基幹改良)。
II 計画の効果・効率性			
①事業計画の目標と定量的指標の整合性		○	主に水質改善と老朽化対策をその目標としており、浄水施設のクリプトスポリジウム対策実施率と耐震適合率を定量的指標にすることは、妥当と思われる(浄水受水も浄水施設の直接的改良に替わるものとして評価している)(統合簡易水道、統合整備)。構造物等の老朽化解消をその目標としており、施設の経年化率と耐震適合率を定量的指標にすることは、妥当と思われる。(基幹改良)
②定量的指標の明瞭性		○	算式により、確実に算定でき、明瞭である。
③目標と事業内容の整合性		○	計画の目標に対し、妥当な事業内容である。
④事業の効果の見込みの妥当性		○	本事業により、水道基盤強化と災害に強いまちづくりを図ることができ、事業効果は十分期待できる。
III 計画の実現可能性			
①円滑な事業執行の環境(用地取得の見通し、関連法手続きの見通し等)		○	取得予定用地は市有地であり、了承済みである(統合簡易水道)。必要な用地については取得済みである(統合整備)。取得予定用地は私有地であり、了承済みである。
②地元の機運(当該事業に係る要望等)		○	生活用水の安定供給は、地域住民の福祉と健康ならびに生活環境の改善にとって極めて重要な意義を持っている。施設整備を簡易水道の統合事業と併せて行い、安全な水を安定して供給する(統合簡易水道)。老朽化等の問題を抱えた浄水場を取り止め、県用水供給事業からの受水(河下広域)または出雲市水道事業からの受水(鷺浦猪目)に切り替える(統合整備)。既設構造物等の新設改良整備を行い、安全な水を安定して供給する(基幹改良)。また、維持管理性も向上することから、地元より早急な整備が望まれている。